

輸 送 状 況 調

年 月 日から

年 月 日まで

鉄道何々間

1 貨物 何年何期（又は何年度）（何年何月～何年何月）

氏名又は名称

品目	自 線								合計	他の交通機関による推定概算輸送数量	備考
	車 扱				コ ン テ ナ						
	自線発着	自線発他線着	他線発自線着	計	自線発着	自線発他線着	他線発自線着	計			
トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン		
合計											

備考

- 1 本表は認定を受けようとする日を含む事業年度の前事業年度末からさかのぼり三年間における実績を事業年度ごとに各別に作成すること。なお、認定を受けようとする鉄道が認定を受けようとする日を含む事業年度の前事業年度末までに運輸開始後三年間を経過しない鉄道であるときは、当該運輸開始の日から当該前事業年度末までの期間（以下「経過期間」という。）にあつては経過期間における実績を、当該前事業年度末後経過期間とあわせて三年に達する日を含む事業年度の末日までの期間にあつては当該期間における見込を事業年度ごとに各別に作成すること。又認定を受けようとする鉄道が運輸開始前のものであるときは、その運輸開始後三年間における見込を一年ごとに各別に作成すること。
- 2 輸送数量の僅少な貨物は、一括して品名欄に「その他」として掲上すること。
- 3 他の交通機関による推定概算輸送数量欄には、自線沿線圏内の貨物であつて、自線によつて輸送されておらず、自線以外の交通機関によつて輸送されていると認められる貨物の年間（自線に係る事業年度が一年未満の場合には、これに対応する期間。以下同じ。）の推定輸送数量を記入すること。
- 4 発着貨物トン数の多い駅は、主要品名別にその駅名及び発着別にトン数を備考欄に記入すること。
- 5 自線沿線におけるトラック事業（兼営及び傍系会社経営のものを含む。）の事業者名、年間の推定概算輸送数量及び輸送能力（所有者両等）を附記すること。なお、自線が浸蝕されていると認められる年間の見込輸送数量を年間の推定概算輸送数量の内書として括弧書とすること。

(例)	事業者名	年間推定概算輸送数量	輸 送 能 力	
			所有車両	従業員数
	何々トラック	1,500 トン (700 トン)	15 両	30 人
	何々輸送	2,100 トン (1,000 トン)	20 両	40 人

- 6 本様式中自線とは、認定を受けようとする鉄道をいう。以下各様式において同じ。

2 旅客 何年何期（又は何年度）（何年何月～何年何月）

種 別	自 線			合計	他の交通機関による推定概算輸送人員	備 考
	自線発着	自線発 他線着	他線発 自線着			
定期外旅客	人	人	人	人		
定期旅客						
通勤						
通学						
その他						
合 計						

備考

- 1 第一号様式（その一）の1貨物の備考1は、本表に準用する。
- 2 他の交通機関による推定概算輸送人員欄には、沿線圏内の旅客であつて、自線によつて輸送されておらず、自線以外の交通機関によつて輸送されていると認められる旅客の年間の推定輸送人員を記入すること。
- 3 乗降車人員の多い駅は、種類別にその駅名及び乗降別に人員を備考欄に記入すること。
- 4 沿線におけるバス事業（兼営及び傍系会社経営のものを含む。）の事業者名、年間の推定概算輸送人員及び輸送能力を附記すること。なお、自線が浸蝕されていると認められる年間の見込輸送人員を年間の推定概算輸送人員の内書として括弧書とすること。

(例) 事業者名	年間推定概算輸送人員	輸 送 能 力	
		所有車両	従業員数
何々バス	586,000人 (398,000人)	大型バス 150両	300人
何々乗合自動車	263,800人 (205,000人)	大型バス 50両	
		小型バス 20両	180人